

第1回
検討会
H27.10

第2回
検討会
H28.3

第3回
検討会
H28.4

第4回
検討会
H28.10

第5回
検討会
H29.冬
(予定)

H29.4頃

基準・試験方法等の見直し

現在の台上試験に加え、路上走行試験等の実施に向けた課題整理

欧米等における対策の情報収集

自動車メーカー等の報告内容の検証

車両選定
装置準備

路上走行
調査等

自動車メーカー
ヒアリング

検証結果審議

中間まとめ

検査方法等の見直しに向けた課題

●路上走行検査の実施方法の検討

路上走行検査の実施条件（試験ルート
の条件、走行条件、環境条件、試験車
両・試験装置の設置等の条件）の検討

試験ルート・走行条件設定のための調査

欧米の動向等の情報収集

試験結果の評価方法（路上走行検査の対象物質、試験結果
の処理方法、試験結果の評価に用いるCF値）の検討

種々の条件下での実走行調査

欧米の動向等の情報収集

●保護制御の範囲の検討

排出ガス低減装置の停止条件に係る
技術的合理性の検討

自動車メーカー、関係団体
ヒアリング

保護制御のガイドライン案の
策定

●知見の収集

追加的な路上走行調査等（冬季以外の調査を含む）

最終まとめ

路上走行検査の実施方法の検討に向けて実施予定の調査等の概要

(1) 路上走行検査の実施条件の検討のためのデータ取得

ルート条件（区分別の距離、割合、標高等）、環境条件、プレコンディショニング条件など、実施条件を変えて種々の路上走行調査を実施し、データを取得。

また、ピトー管の流量精度を確保する取付方法を確立するための検証を実施するほか、データ取得項目、外気温度、GPSデータ等の取得方法等についても調査の実施とあわせて検討。

(2) MAW法の修正に関する検討

(1) で得られたデータについて欧州RDE試験法におけるMAW法による解析を実施するとともに、MAW法におけるCO₂ Characteristic Curveの作成方法や、速度閾値の変更等、WLTCモードを念頭に置きつつ、国内の使われ方に合わせたデータ処理方法を検討。

(3) CF値の検討

(1) 及び(2) の検討を踏まえ、試験成立の可能性が高いと判断されるルートについて、種々の条件を変えながら、また、なるべく条件をそろえて繰り返し路上走行調査を実施し、CF値検討のためのデータを取得。

保護制御ガイドラインの整備に向けての今後のスケジュール

- 第4回検討会（今回）での議論を踏まえ、ガイドラインの素案を策定。
- メーカー又は関係団体ヒアリングを実施
（ヒアリング内容案）
 - 乗用車として保護制御とすることが必要な制御内容について
 - 具体的な保護制御の範囲について
 - ガイドラインの適用時期について 等
- 必要な意見反映の後、第5回検討会において、ガイドラインの案について再度議論いただく。